



④音楽劇を披露する団員  
⑤「やわたんリズムック」を歌いながら踊る団員と観客

## やわたんイメージソングお披露目 オリジナル音楽劇上演

市少年少女合唱団  
第43回定期発表会

4月21日、八幡市少年少女合唱団第43回定期発表会が文化センター小ホールで行われ、小学2、3年生の団員が美しい歌声や芝居など、多彩なステージで観客を魅了しました。

### 45周年 特別演出

この発表会は、団員の練習の成果を発表する場として毎年開催。今年も、同団が昨年に結成45周年を迎えた記念につくられた市のけんこう大使「やわたん」のイメージソングのお披露目など、特別なプログラムが準備されました。

第一部は、オリジナル音楽劇「かばんうりのガラゴ」を上演。主人公のガラゴが、訪ねたお客の希望に応じて、ユニークな形や使い方のかばんを出してくれる物語で、衣装を身につけた団員は、感情豊かに歌と芝居を披露していました。

第二部では、団員が振り付けを交えながら、やわたんのイメージソング「やわたんリズムック」を披露。観客も一緒になつて踊るなど、会場は一体感に包まれていました。

第三部は、合唱ステージ。団員が「ツバメ」など4曲をのびやかに歌い上げると、観客からは大きな拍手が送られていました。

初めての給食を味わう児童（さくら小）



### 市内小学校 初めての給食

4月16日、市内の小学校で1年生の給食が始まり、児童はクラスのみんなと一緒に、初めての給食を味わいました。

この日の献立は、鶏肉のからあげ、野菜の味噌汁、わかめご飯、牛乳でした。

エプロンと三角巾を身につけた給食当番は、食缶や食器を受け取りに給食室へ。それを教室に運んだら、先生に手伝ってもらいながらご飯やおかずをよそってお盆に乗せ、慎重にみんなの席に運びました。

給食が行き渡ったら、みんなで手を合わせて「いただきます」。児童は、早速給食をほお張ると、「おいしい」などと感想を言い合いながら味わっていました。おかわりをしたり、空っぽになったお皿を見せ合ったりして、初めての給食に満足した様子でした。

木田湊斗くん(6)は、「からあげをおかわりしたい。明日からも残さず食べたい」と話していました。

みんなで「いただきます」

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

来場者でにぎわう満開の桜並木



### 桜のトンネル 15万人が堪能

淀川河川公園背割堤地区で「令和6年背割堤さくらまつり」が3月23日(土)～4月12日(金)に開催されました。

同まつりは、市や淀川河川事務所、京都府などで構成する背割堤さくらまつり実行委員会が主催。昨年同様、桜や環境の保全などに充てるため、入場者に1人100円の運営協力金を呼びかけました。

今年も、桜の開花が例年より遅れましたが、期

### 背割堤さくらまつり

間中は、約1・4kmにわたって約220本のソメイヨシノが咲く桜のトンネルをひと目見ようと、約15万人が来場。

来場者は、記念撮影をしたり、さくらであい館展望塔から景色を眺めたりして、散策を楽しんでいました。

また、グルメやスイーツなど35店舗が並ぶさくらマルシェや、船上から花を愛でるさくらであいクルーズ、お花見船Eボートでの川下り、ガイドによるさくらのお話ツアーなどもあり、来場者は思い思いにお花見を満喫していました。

## 今月のこの人

### 市本部5人目 女性消防士



令和6年度八幡市新規採用職員。八幡市消防本部で5人目の女性消防職。

百田 久佳さん

「消防学校では、毎日の授業ひとつひとつが新鮮で興味深く、楽しいです」と初任教育の日々の充実感を話す百田久佳さん。

4歳のころから柔道を続け、中学・高校・大学で全国大会に出場した実力を持ち、体力には自信があったといいます。高校生のとき「柔道を通じて培い、一番自信がある

この力を、人のために使いたい」と感じたことが、消防士を目指すきっかけでした。

日々の訓練では、現場での円滑な活動を図ろうと、教官や隊の同期と積極的に会話を心がけ、疑問点の解消や信頼関係の構築に努めている百田

さん。人命救助の最前線として「消防学校で教わることに加え、自分の技術や精神力を向上させ、みんなに憧れてもらえるような消防士になりたい」と熱意にあふれています。

未来の消防士には「得意なことや自分の持つ力を、ぜひ人のために使ってほしい。そんな優しい人に消防士を目指してほしい」とエールを送りました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。